

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科		
科目名称	特別演習Ⅱ					授業形態		講義・演習		
科目コード	590145	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	各コースアドバイザー								ICT活用	○
授業概要	<p>現代人には、世界標準としての知的生産能力である「21世紀型スキル」が求められている。とりわけ、①相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に理解して解釈する力、②相手の考えだけでなく、自分の考えに誤りや偏りがいないかを振りかえる力が重要である。本科目では、論理的・分析的に考える力を育成しつつ、社会的常識、読解力、コミュニケーション力を養成する。それらを通じ、生活に必要な情報を正しく読みとり、人に正確に伝え、考えの異なる人の意見に耳を傾けつつ多様な人々と協働する力と、責任感を持って自律的に社会に関わり、倫理的・道徳的判断を行い、社会的課題を改善する意識を養う。さらに、社会的課題を地球規模の視点で捉え、ダイバーシティを目指す社会の一員として責任ある行動がとれる力も育成する。</p> <p>また、本科目は学生が有意義な学生生活を送れるよう支援し、社会人になるにあたって意識を高めるための指導・助言をするための授業でもある。したがって、本科目では①大学の建学の精神やディプロマ・ポリシーの理解、②社会人としての教養の養成、③教員との交流を通じたコミュニケーション能力の向上等も目的としている。</p>									
関連する科目	特別演習Ⅰ									
授業の進め方 と方法	<p>講義と演習を織り交ぜて全15回の授業を構成する。ふりかえりシートやふりかえりレポート、課題や発表等を課すことにより、受講者の理解度を確認する。各回の講師は、受講者からの質問を随時受け付ける。</p>									
授業計画 【第1回】	1年次の学びの振りかえりとカリキュラム・デザインの修正（各コース・アドバイザー教員）									
授業計画 【第2回】	就職支援ガイダンス（就職課） 就活本番講座									
授業計画 【第3回】	1・2年生の交流（各コース・アドバイザー教員）									
授業計画 【第4回】	短大生のためのビジネスマナー講座（柚木崎千春） 「学校から社会・職業への移行」がスムーズであるために、今できることを明確にする。									
授業計画 【第5回】	新しい角度から見る「英単語」（水島孝司） 英単語を「暗記」ではなく、「分解して考える」ことで新たな視点を獲得する。									
授業計画 【第6回】	就職活動に向けたキャリア・デザイン（各コース・アドバイザー教員）									
授業計画 【第7回】	社会科学を学ぶ－会社を知らう－（土田博） 人生で最も長くいるところの「会社」について考える。									
授業計画 【第8回】	生活情報の知識と活用－書類の発送・貯金・保険－（林欣也） 「書類発送種類のメリット・デメリット等」「貯金通帳の見方等」「保険の選択等」の知識について解説する。									
授業計画 【第9回】	小さな起業で生きていく（矢野俊樹） 「小さな起業」について、事業計画の書き方や資金調達の方法などのリアルな情報と、実際に支援した女性の起業事例を紹介する。									
授業計画 【第10回】	社会調査の学びに役立つ社会統計学（呉海鍾） 社会学と統計学を融合し、社会調査における重要な概念（社会変化・動向）と手法を理解し、実践することを目指す。									
授業計画 【第11回】	就職支援ガイダンス（就職課） 生活設計とリスク管理									
授業計画 【第12回】	教養講座（招聘講師）									
授業計画 【第13回】	なぜ「日本人としての誇り」が必要なのか（横堀仁志） 日本人が日本人として「誇りを持つこと」の重要性を理解し、そのために必要な知識とは何かを解説する。									
授業計画 【第14回】	世界の中の日本語（田中利砂子） 国内外における日本語の使用状況を知り、日本語の有力性について考える									

授業計画 【第15回】	2年間を振りかえり、生涯発達の視点でキャリアをデザインする（各コース・アドバイザー教員）
授業の到達目標	① 相手の立場に立って自分の考えを述べ、積極的な姿勢で相手の話を聴くことができる。【態度・志向性】 ② 多様な背景を持つ人とコミュニケーションをはかることができる。【態度・志向性】 ③ 情報を鵜呑みせず、自分で調べたりなどして、その真偽を確認することができる。その上で情報を自分で分析し、その結果に基づいて自分の考えを述べることができる。【汎用性技能】 ④ 社会の一員としての自覚を持ち、世の中の事柄を世界との関係の中で考えられるようになる。自分の行動が世界に影響を及ぼすことが理解できる。そして、社会の一員として課題改善に向けて関わるができる。【態度・志向性】 ⑤ 将来あるべき姿を思い描き、それに向けて一歩ずつ努力して前進し続けることができる。【態度・志向性】 ⑥ 職業を通じて社会に貢献する方法を考え、実践に向けて取り組むことができる。【態度・志向性】
学修成果との関連	1. 自ら考える能力を有する。／2. 自分の言葉で表現できる能力を有する。／3. 現代社会に関する基本的知識を有する。／4. 多文化・異文化に関する基本的知識を有する。／5. 地域社会に貢献する意欲を有する。／6. 地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	〈予習〉（2時間程度） ・毎回授業を受講する前に授業のテーマを確認し、そのテーマやキーワードについて調べておくこと。 ・コース・アドバイザーの授業に関しては、担当教員の指示に従うこと。
授業時間外学習【復習】	〈復習〉（2時間程度） ・授業を通じて考えたことについて、600～800字程度のレポートを作成する。 ・授業で学んだ内容を振りかえり、要点を整理しておくこと。 ・理解が不十分であった部分は、各回の担当教員に質問するなどして疑問を解消しておくこと。
課題に対するフィードバック	フィードバックは、各回の担当教員が受講した学生に対して与える。
評価方法・基準	【オムニバス授業（全8回）＋就職支援ガイダンス（全2回）＋教養講座】 ① ふりかえりシート : 20% ② 授業貢献度 : 10% ③ ふりかえりレポート : 40% 【コース・アドバイザーによる活動（全4回）】 課題・発表 : 20%
テキスト	必要に応じて指示する。
参考書	随時、授業で紹介する。
備考	